

中心市街地における河川等の公共空間を活用した社会実験の実施について

1 事業の目的

中心市街地活性化に向けて、河川敷地など公共空間等の活用可能性や歩いて楽しめる賑わいあるエリア形成への貢献性などについて評価・検証するため、中心市街地の地域資源である釜川を活用した官民連携による社会実験を実施するもの

2 事業概要

(1) 期間

令和2年7月18日から令和2年9月27日まで

※ 取組状況に応じ、期間延長も想定

(2) 主体

KAMAGAWA YARD 実行委員会

【構成団体】

令和元年度の実験に参加した事業者を中心に、地域の住民・団体や市内大学で構成
⇒ 移動販売車事業者、釜川プロムナード整備協議会、中央小学校PTA、宇都宮大学、宇都宮共和大学、宇都宮まちづくり推進機構、宇都宮市

(3) これまでの経過

平成29年度 低・未利用地の利活用促進に向けたシンポジウムの開催

低・未利用地の利活用促進に向けたワークショップの開催（2回）

⇒ 低・未利用地の利活用が見込まれるエリアの選定に向けたまち歩きなどを実施し、社会実験に向けて取り組むこととした。

平成30年度 低・未利用地の利活用促進に向けたワークショップの開催（4回）

⇒ 社会実験の実施エリア・内容の検討、具体化に向けた準備 など

令和元年度 釜川の河川敷地などの公共空間等を活用した社会実験の実施

（令和元年11月2日～令和2年1月15日）

⇒ 公共空間における商業利用の試行、プレイヤー（事業者）の発掘 など

(4) 実施内容

ア 釜川河川敷地におけるバーカウンターの活用

河川の魅力を生かした「居心地の良い水辺空間」の形成に向けて、周辺の店舗等における飲食スペースとしての利用など、釜川沿いの欄干に設置したバーカウンターの活用を図る。

イ 釜川ふれあい広場における多様な活動の促進

誰もが日常的に利用できる「憩いや賑わい・交流の空間」の創出を図るため、飲食物等の提供を始め、体験型ワークショップや清掃等の地域活動など、多様な活動を促す機能を配置する。

(5) 対象エリア

釜川沿いの御橋から新橋までの区間



3 今後の展開

(1) 評価・検証

社会実験の期間中と期間外における、来訪者の行動変容や滞留時間、周辺店舗の売上への寄与、運営に係る事業性等を確認するため、活動調査やアンケート調査などを実施し、多角的に評価・検証を行う。

(2) 事業化の検討

社会実験の評価・検証を踏まえ、中心市街地活性化への寄与や事業性・経済性の高い取組を整理し、事業者主体による河川敷地などの公共空間等の恒常的な活用に向けた手法や手順を検討する。

4 スケジュール

- 6月29日 公表
- 7月18日～ 社会実験開始（～9月27日）
- 9月28日～ 評価・検証結果の取りまとめ